

令和 8 年度

学習と生活のしおり

～ 凡事徹底とレベルアップ ～

さいたま市立与野西中学校

〒338-0013 さいたま市中央区鈴谷8-10-33

TEL 048(852)6235 FAX 048(852)6253

令和8年度
「学習と生活のしおり」
～凡事徹底とレベルアップ～
目 次

○ 令和8年度 学校経営案	1
○ 日課表	4
○ 各教科年間時数並びに各ユニットにおける時数	5
○ 評価・評定について	6
○ 与野西中学校の学習の約束	7
○ 家庭学習について	8
○ 学習計画表例	9
○ 国 語 基礎学力定着プロジェクト・年間指導計画	10
○ 社 会 基礎学力定着プロジェクト・年間指導計画	12
○ 数 学 基礎学力定着プロジェクト・年間指導計画	14
○ 理 科 基礎学力定着プロジェクト・年間指導計画	16
○ G ・ S 基礎学力定着プロジェクト・年間指導計画	18
○ 音 楽 基礎学力定着プロジェクト・年間指導計画	20
○ 美 術 基礎学力定着プロジェクト・年間指導計画	22
○ 保 健 体 育 基礎学力定着プロジェクト・年間指導計画	24
○ 技 術・家 庭 基礎学力定着プロジェクト・年間指導計画	26
○ 特別支援学級 基礎学力定着プロジェクト・年間指導計画	28
○ 服装・身だしなみについての約束	30
○ 心を潤す4つの言葉、心を元気にする4つの言葉	31
○ 令和8年度年間行事予定表	32

令和8年度 学校経営案

さいたま市立与野西中学校
校長 和田 卓也

1 与野西中学校の教育理念

与野西中学校未来創造プロジェクト

- ・中学校教育は、小学校における教育の上に、生徒一人ひとりのもつ能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培い、また、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うことを目的として行われるものである。
- ・本校への保護者や地域の期待感や関心は高く、本校の教育の推進に大きな力となっている。本校は、コミュニティスクールとして、保護者や地域等と協力し、その力を活用し、また、保護者や地域、関係機関との連携を密にしながら、生徒一人ひとりがWeii-Beingを大切にし、それぞれにとっての「幸せ」について具体的なイメージをもつことができる教育の実践を充実させるとともに、未来の担い手として力強く道を切り拓いていくための創造力の育成を積極的に図っていく。
- ・新しい時代、新しい教育を目指し、さいたま市が取り組んでいる「GIGAスクール構想」を実現し、質の高い教育を進めていく。
- ・関係法令及び「さいたま市の学校教育ビジョン」をもとに、保護者や地域等の期待と信頼に応えるべく全力を尽くして本校の教育を推進する。

2 学校教育目標

『心豊かな生徒』 『自ら学ぶ生徒』 『自己実現を目指す生徒』
(ゆたかに) (かしこく) (たくましく)

- ・ 心豊かな生徒 (ゆたかに)
 - 自他の生命や人権を尊重する心を育てる。
 - 他を思いやり、相手の立場になって行動できる態度を育てる。
 - 自然を愛し、美しいものに感動する心を育てる。
- ・ 自ら学ぶ生徒 (かしこく)
 - 自ら学ぼうとする意欲を育てる。
 - 学ぶ喜びや成就感、充足感を味わわせる。
 - 一人ひとりのよさや可能性を伸ばす。
- ・ 自己実現を目指す生徒 (たくましく)
 - 心身を鍛え、根気よく取り組む態度を育てる。
 - 夢を描き、自分の思いや願いを実現できる力を付ける。
 - 人間としてよりよく生きようとする意欲を育てる。

3 目指す学校像

「生徒が、希望をもって登校し、笑顔で活動し、満足して下校する学校」

キャッチフレーズ

希望の登校 笑顔の活動 満足の下校

4 生活目標

「礼を正し 場を浄め 時を守る」

徒指導体制を維持するとともに、一層の充実を図る。

- ④ 常に生徒の傍らに教職員がいるように努め、多くの教職員が生徒と関わり人間関係を深めるよう努める。
- ⑤ 生徒の状況の早期把握、共有化、早期対応に努めるとともに、毅然とした是非の指導を行う。
- ⑥ 他機関(特に教育相談室)との連携を密に、不登校生徒解消に向けて取り組み、教室に足が向かない生徒のためのSolaルームや教育相談室の整備を一層進める。
- ⑦ 小・中一貫教育のさらなる推進により、校区内3校の小学校との生徒指導のきまり等の連携を進める。

(3) きめ細かな指導をとおした心豊かな生徒の育成

- ① 「心と生活のアンケート」等を活用し、生徒の小さな変化を早期に把握し、ケース会議等をとおして教育相談活動を一層充実させ、個々の生徒に関する情報の共有化と組織的対応を図り、迅速かつ適切な対応に努める。
- ② いじめ防止基本方針に則り、いじめ対策委員会等組織的にいじめ防止に取り組み、いじめを絶対に許さない気運を醸成するとともに、差別を憎む、思いやりのある心豊かな生徒の育成に努める。
- ③ 生徒会活動や部活動、学校行事等を充実させ、学校の主役である生徒の活動意欲を引き出すとともに、諸活動に真剣に取り組みせ、生徒のよさを望ましい方向に発現させる。
- ④ 特別支援学級や通級指導教室においてはソーシャルスキルトレーニング等の積極的な活用により、より一層の指導の充実を図るとともに、特別支援学級の弾力的運用等について、実施していく。
- ⑤ 小・中一貫教育のさらなる推進により、校区内3校の小学校との教育相談体制の連携を進める。

(4) 安全・安心で心潤う教育環境づくり

- ① 安全・安心な学校を第一に全教職員で心のこもった安全点検を実施する。
- ② さまざまな自然災害を想定した訓練を実施し、防災意識を高めるとともに、緊急時における的確かつ迅速に対応できるスキルを高める。
- ③ 犯罪や事故(特にSNSやインターネット等)に巻き込まれないために、保護者や他機関等との連携を図りながら、教職員、生徒、保護者、地域のセキュリティの向上を図る。
- ④ 掲示教育の充実や校内緑化の推進、清掃活動の充実等により、潤いと落ち着きのある教育環境の整備に努める。

(5) 保護者や地域等との連携協力の推進

- ① コミュニティスクールとしての与野西中学校の利点を生かし、保護者や地域等との信頼関係の維持向上に向けて、迅速かつ誠実な報告・連絡・相談・見届け・確認に努める。
- ② 学校だよりの地域回覧や学プリ等での学年・学級だよりの各種お便り、HP、学校安心メール等で積極的に情報を発信するとともに、学校公開、授業参観、保護者会等を活用して開かれた学校づくりに努める。
- ③ 校区環境美化活動や青少年育成与野西地区会によるパトロール等を通じて、保護者や地域等との連携協力を強化し、学校運営協議会のテーマである『生徒が「地域の中で清らかな心を身に付ける」』ために、地域ぐるみで生徒の健全育成に努める。
- ④ ・学校・地域交流センターの有効活用のための規約を策定し、必要とする地域の団体に幅広く門戸を開放する。地域の力を生徒に還元できる術を考えていく。

日 課 表

	月	火	水	木	金	朝短縮日課
8:15 ~ 8:20	職員打ち合わせ会議					
8:20 ~ 8:25	(移動)	登校/着替え/出欠確認(8:25)				
8:25 ~ 8:35	朝会	朝読書				朝の会 8:25~ 8:30
8:35 ~ 8:40		朝の会				/
8:40 ~ 8:50	(移動)	清掃				/
9:00 ~ 9:50	①	⑥	⑫	⑱	㉔	8:40~ 9:30
10:00 ~ 10:50	②	⑦	⑬	⑲	㉕	9:40~10:30
11:00 ~ 11:50	③	⑧	⑭	⑳	㉖	10:40~11:30
12:00 ~ 12:50	④	⑨	⑮	㉑	㉗	11:40~12:30
12:50 ~ 13:25	給食					12:30~13:05
13:25 ~ 13:40	昼休み					13:05~13:20
13:40	予鈴					13:20
13:45 ~ 14:35	⑤	⑩	⑯	㉒	㉚	13:25~14:15
14:45 ~ 15:35	/	⑪	⑰	㉓	㉛	14:25~15:15
15:35 ~ 15:45	/	帰りの会				15:15~15:25
14:35 ~ 14:45	帰りの会					諸会議
15:10	諸会議					

*①は全クラス「学活」

※ 基本的な方針

1. 朝短縮日課の日は、朝読書・朝清掃なし。
2. 清掃は教職員が揃っている時間帯で行う。
3. 給食時間は35分間とする。
4. 昼休みはできるだけカットすることのないようにする。
5. 放課後の清掃は、委員会や日直等の活動で行う。

下校時刻について

学年末テスト
 ~2学期中間テスト
 17:45 部活動終了
 18:00 完全下校

2学期中間テスト
 ~学年末テスト
 17:15 部活動終了
 17:30 完全下校

各教科年間時数並びに各ユニットにおける時数

(さいたま市の定める時数＝年間1015時間＋学校全体で45時間)

【 与野西中学校の年間時数 】

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	GS	道徳	特活	総合	S・T	潤い	合計
1年	140	105	140	105	52	45	120	70	157	35	35	24	(9)	9	1037
2年	140	105	105	140	43	35	120	70	157	35	35	53	(9)		1038
3年	105	140	140	140	35	35	105	35	157	35	35	53	(9)		1015

【 与野西中学校のⅠ期・Ⅱ期の時数 】

※ 1年生は、35週を『Ⅰ＝20週／Ⅱ＝15週』のⅡ期制にする。）

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	GS	道徳	特活	総合	S・T	潤い	合計
1年	140	105	140	105	52	45	120	70	157	35	35	24	(9)	人プ 9	1037
Ⅰ期	80 /4	60 /3	80 /4	60 /3	37 /1.8	30 /1.5	69 /3.4	40 /2	90 /4.5	20 /1	20 /1	10/ 0.5	(6)	人プ 6	602/29
Ⅱ期	60 /4	45 /3	60 /4	45 /3	15 /1	15 /1	51 /3.4	30 /2	67/ 4.5	15 /1	15 /1	14/ 1.6	(3)	人プ 3	435/29

* 人間関係プログラム＝9時間

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	GS	道徳	特活	総合	S・T	合計
2年	140 /4	105 /3	105 /3	140 /4	43 /1	35 /1	120 /3.4	70 /2	157 /4.5	35 /1	35 /1	53 /1.5	(9)	1038

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	GS	道徳	特活	総合	S・T	合計
3年	105 /3	140 /4	140 /4	140 /4	35 /1	35 /1	105 /3.4	35 /1	157 /4.5	35 /1	35 /1	53 /1.5	(9)	1015

評価・評定について

(1) 各教科の「観点別評価」と「評定」

各観点を、A,B,Cの3段階で評価し、それをまとめて5,4,3,2,1の5段階の評定をつける。

A「十分満足できる」	5「十分満足できるもののうち、高い程度にある」 4「十分満足できる」
B「おおむね満足できる」	3「おおむね満足できる」
C「努力を要する」	2「努力を要する」 1「一層の努力を要する」

(2) 「観点別評価」と「評定」の関係 (観点が3つある場合)

AAA	5
AAB ※1	4
AAC ABB ABC ACC BBB BBC	3
BCC	2
CCC	1or2

※1 AABはAAB、ABA、BAAのAが2つ、Bが1つの観点別評価を表しています。

与野西中学校の学習の約束

		具体的な内容
授業の基本	授業準備	<ul style="list-style-type: none"> 机の上に次の授業の準備をし、チャイムが鳴る前に着席する。
	あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> 授業の最初と最後に、元気にあいさつする。 <p>*起立・礼・「お願いします」or「ありがとうございました」・着席</p>
	取り組み方	<ul style="list-style-type: none"> 授業では積極的に発言・発表をする。 無断で席を立たない。用があるときは、先生に要件を伝えて許可を得る。 けじめをつけて授業に参加し、私語はしない。
授業中	発言の仕方	<ul style="list-style-type: none"> 指名されたら、「はい」と返事をする。 「です・ます」を使うなど、丁寧な言葉で話す。 みんなが聞き取りやすい声の大きさを発言・発表する。
	聴き方	<ul style="list-style-type: none"> 話し手の方を見て、しっかり聞く。 友だちの発言を批判したり、からかったりしない。
	ノートの取り方	<ul style="list-style-type: none"> 日々の復習やテスト勉強に活用できるよう、わかりやすく丁寧に書く。 板書内容だけでなく、大切だと思ったことは、どんどん記入する。 ワークシート・プリント等も整理して、テスト勉強等に活用する。
宿題等	宿題・提出物	<ul style="list-style-type: none"> 宿題や提出物は、早めに取り組み、期限を厳守して提出する。 提出物には、組・番号・氏名をしっかりと書く。 教科係や先生に直接提出する(教卓などに置きっぱなしにしない)。
テスト対策	テスト前	<ul style="list-style-type: none"> 自分に合った学習計画を立てる。(不得意教科の対策など) <p>*部活動停止期間や休日を有効に使うようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日々の授業の復習をもとに、ポイントをまとめ、覚え、練習問題等を解く。 学習会を積極的に活用する。
	テスト後	<ul style="list-style-type: none"> テスト返却後、間違えたところ、できなかったところを中心に復習する。

家庭学習について

基礎学力を定着させるためには、地道で継続的な学習が欠かせません。中学生の学習は、授業と宿題だけでは、十分とは言えません。授業内容を忘れないうちに、毎日こまめに家庭で復習することが大切です。

授業で学習した内容をしっかり身に付けるために、自主的、計画的な家庭学習の習慣を身に付けましょう。

1 家庭学習のポイント

- ① 家庭学習に必要な勉強道具は持ち帰る。
- ② 机に向かって、復習、宿題、予習に取り組む時間をつくる。
- ③ 決めた時間に勉強をスタートさせる。
- ④ テレビやゲーム、スマートフォン等の使用時間や使い方を考えましょう。

2 保護者の皆様へ

お子様の家庭学習を支えるためのポイントです。

- ① 勉強に集中しやすい環境をつくる。
- ② 学校での生活の様子に関心をもつ。
- ③ 将来の夢や就きたい職業について話し合う。
- ④ 勉強している様子を見守り、ほめる。

日々の家庭学習を習慣化させ、基礎学力をしっかりと身に付けさせましょう。

3 家庭学習の取組チェック表

◎○△×

番号	項目	自己評価
①	寝る前に、次の日の持ち物の準備をしている。	
②	宿題・提出物は、早めに取り組み、しっかり提出している。	
③	授業のノート、プリント等を活用している。	
④	わからないことは、聞いたり調べたりして、解決している。	
⑤	字は丁寧に書いている。	
⑥	テスト等で間違えたところは、もう一度やり直している。	
⑦	得意な教科だけでなく、不得意な教科も学習している。	

学習記録表

(例)2学期中間テスト

目標 計画通りに進める。1日4時間以上勉強する。



		8日(金)	9日(土)	10日(日)	11日(月)	12日(火)	13日(水)	14日(木)	15日(金)	16日(土)	17日(日)	18日(月)	19日(火)	20日(水)	21日(木)	22日(金)
科目	国	漢字P8,9 音読「ふしぎ」 ○	漢字P10,11 音読「音を」 ○	漢字P12,13 音読「ふしぎ」 ○	漢字P8,9 音読「音を」 ○	漢字P10,11 音読「音を」 ○	漢字P12,13 音読「音を」 ○	漢字P8,9 意味確認 ○	漢字P10,11 音読「ふしぎ」 ○	漢字P12,13 作文 ○	漢字P8,9 音読「音を」 ○	漢字P11~13 ファイルの 見直し ○	漢字P8~10 ノートの見直し ○	漢字P11~13 作文 ○	漢字P8~13 作文 ○	
時間		4	8	8	5	4	4	4	4	3	8	8	7	7	7	
内容		教科書P2,3 プリント1	教科書P4,5 プリント2	教科書P6,7 プリント3	教科書P8,9 プリント4	教科書P10,11 プリント5	教科書P12,13 プリント6	教科書P14,15 プリント7	教科書P2~6 プリント8	教科書P7~11 プリント1~3	教科書P12~15 プリント4~6	教科書P2~8 プリント7,8	教科書P9~15 ノートの見直し	教科書 ノートの見直し	教科書P8~13 作文	
学習計画と内容		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
数学		ワークP2,3 ×	ワークP4,5 ○	ワークP6,7 ○	ワークP8,9 ○	ワークP10,11 ○	ワークP12,13 ○	ワークP14,15 ○	ワークP16,17 ○	ワークP18~20 ○	間違えたワーク の問題	ワークP2~8 ノートの見直し	ワークP9~15 ノートの見直し	ワークP16~20 ノートの見直し	ワークのまとめ ノートの見直し	テスト日課 ワーク・ ノート等の 提出を忘 れずに
理科		ワークP2,3 ○	ワークP4,5 ○	ワークP6,7 ○	ワークP8,9 ○	ワークP10,11 ○	ワークP12,13 ○	ワークP14,15 ○	ワークP16,17 ○	ワークP18~20 ○	間違えたワーク の問題	積み上げ1,2	復習	復習	復習	
G		教科書P14 ワークNo.1 ×	教科書P15 教科書P14,15 ワークNo.2	教科書P16 教科書P16,17 ワークNo.3	教科書P17 教科書P18,19 ワークNo.4	教科書P29 教科書P20,21 ワークNo.5	教科書P16 教科書P14,15 ワークNo.6	教科書P17 教科書P16,17 ワークNo.7	教科書P29 教科書P18,19 ワークNo.2,3	教科書P14~16 教科書P20,21 ワークNo.4,5	教科書P14~16 教科書P20,21 ワークNo.6,7	英単語まとめ 教科書まとめ ワークまとめ	英単語まとめ 教科書まとめ ワークまとめ	復習	復習	
S		教科書P14 ワークNo.1 ×	教科書P15 教科書P14,15 ワークNo.2	教科書P16 教科書P16,17 ワークNo.3	教科書P17 教科書P18,19 ワークNo.4	教科書P29 教科書P20,21 ワークNo.5	教科書P16 教科書P14,15 ワークNo.6	教科書P17 教科書P16,17 ワークNo.7	教科書P29 教科書P18,19 ワークNo.2,3	教科書P14~16 教科書P20,21 ワークNo.4,5	教科書P14~16 教科書P20,21 ワークNo.6,7	英単語まとめ 教科書まとめ ワークまとめ	英単語まとめ 教科書まとめ ワークまとめ	復習	復習	
実施時間		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
1h																
2h																
3h																
4h																
5h																
6h																
7h																
8h																
9h																
10h																
学習記録																
実施時間																
OK		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

色えんぴつで
予定と実施した時間を塗ろう!

☆テスト範囲表を見て、やるべきことを書きだそう! ☆

計画通りにできたら○、
できなかったら×を書く。

国語

の基礎学力定着プロジェクト

教科の目標

- ①自分のものの見方や考え方を深め、目的や場面に応じた的確に話したり聞いたりする能力を身につける。
- ②様々な材料を基に自分の考えを深め、自分の立場を明らかにして論理的に書き表す能力を身につけるとともに、文章を書くことによって生活を豊かにする。
- ③目的や意図に応じて文章を読み、広い範囲から情報を集め、効果的に活用する能力を身につけるとともに、読書を生活に役立て自己を向上させようとする態度を身につける。

授業の約束

- ①用意は休み時間にしましょう。忘れ物がある場合は、すみやかに報告しましょう。
- ②提出期限を守り、課題を提出しましょう。
- ③読みやすい文字で、正確で丁寧な字を書きましょう。
- ④授業中はやるべきことに集中して、しっかり取り組みましょう。

家庭学習

- ・授業で出された課題は、必ず取り組みましょう。
- ・予習として、教科書の授業で習う部分をよく読んでおきましょう。
- ・読めない漢字や、意味の分かりにくい言葉があったら、辞書で調べるようにしましょう。
- ・毎日の復習として、漢字の復習、ノートの見返しと整理、ワークの練習問題などに取り組みましょう。
- ・いろいろな本や新聞を読み、また世の中の出来事に興味をもつようにしましょう。

評価の観点

「知識・技能」

事象や行為、心情を表す語句について理解を深め、語彙を増やし、文法、漢字等についても理解を深め、知識を身につけているか。目的に応じた様々な文章を的確に読み取ることができ、読書に親しんだりしているか。場面に応じた文字を選び丁寧に書き表すことができているか。

「思考・判断・表現」

目的や場面に応じて、的確に聞き取り、または資料に当たって読み取り、良く考えているか。考えた結果を、適切な言葉や態度で、発表したり文章に書いたりすることができるか。

「主体的に学習に取り組む態度」

国語に関心・意欲を持ち、自らの学習に見通しを持って、進んで粘り強く、課題に取り組んでいるか。思いやりをもち、仲間と協同的に学習に取り組んでいるか。

評価の方法

- ・授業中の発言の様子
- ・ノートの書き込み内容
- ・定期テストの読解問題の結果
- ・定期テスト言語問題の結果
- ・漢字テストの結果
- ・書写の作品の状況

等

- ・発表する力、発表を聞く力
- ・音読、暗唱の力
- ・聞き取りテストの結果
- ・作文、レポート等の内容
- ・定期テスト作文の結果

等

- ・授業への参加の状況
(個人・集団的活動において)
- ・提出した課題の内容
- ・ノートの取り方の様子

等

令和8年度 国語 年間指導計画

学期	1年	2年	3年
1学期	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・『ふしぎ』『四季の詩』 ・聞くということ ・文字で心を伝えよう ・『桜蝶』 ・お気に入りの一品を紹介する ・言葉と社会1 言葉とコミュニケーション ・文法の小窓1 言葉の単位 ・『自分の脳を知っていますか』 ・言葉と社会2 イメージを言葉にする ・資料をもとに紹介文を書く ・構成を考えて話す ・漢字の広場1 漢字の部首 ・言葉の小窓1 日本語の音声 ・『ベンチ』 ・『全ては編集されている』 ・写真で「事実」を表現する ・材料を整理して案内文を書く ・漢字の広場2 画数と活字の字体 ・硬筆 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・『虹の足』『豚』 ・いろいろな立場や考えを踏まえる ・『タオル』 ・文法の小窓1 活用のない自立語 ・新聞の投書を書く ・漢字の広場1 まちがえやすい漢字 ・『日本の花火の楽しみ』 ・『水の山富士山』 ・課題を設定して伝える ・手紙・メールを整える ・言葉と社会1 社会で求められる表現 ・言葉の小窓1 敬語 ・『夢を跳ぶ』 ・観点を明確にして伝える ・言葉の小窓2 話し言葉と書き言葉 ・硬筆 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・『春に』『初恋』『見えないだけ』 ・『やわらかな想い』 ・『立ってくる春』 ・『なぜ物語が必要なのか』 ・情報を確かめてスピーチをする ・言葉の小窓1 和語・漢語・外来語 ・『私』 ・『薔薇のボタン』 ・構成を考えて主張をまとめる ・『メディア・リテラシーはなぜ必要か?』 ・新聞が伝える情報を考える ・漢字の広場1 呉音・漢音・唐音 ・漢字の広場2 熟字訓 ・『A1は哲学でできるか』 ・客観性や信頼性のある記事を書く ・文法の小窓1 助詞のはたらき ・文法の小窓2 助動詞のはたらき ・硬筆
2学期	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な未来を創るために ・『「エンカル」に生きよう』 ・『森には魔法つかいがある』 ・文法の小窓2 文の成分 ・根拠を明確にして意見文を書く ・広告の情報を考える ・昔話と古典―箱に入った桃太郎― ・物語の始まり―竹取物語― ・故事成語―中国の名言― ・『蜘蛛の糸』 ・『河童と蛙』 ・『オツベルと象』 ・随筆を書く ・言葉の小窓2 日本語の文字 ・言葉の小窓3 方言と共通語 ・『子どもの権利』 ・書初め 	<ul style="list-style-type: none"> ・『SNSから自由になるために』 ・脚本で動きを説明する ・漢字の広場2 漢字の成り立ち ・『持続可能な未来を創るために―不平等のない社会を考える―「ここにいる」を言う意味』 ・『紙の建築』 ・確かな根拠をもとに意見文を書く ・文法の小窓2 活用のある自立語 ・敦盛の最期―平家物語― ・随筆の味わい―枕草子・徒然草― ・二千五百年前からのメッセージ―孔子の言葉― ・『坊ちゃん』 ・『短歌の味わい』短歌十首 ・『夏の葬列』 ・漢字の広場3 漢字の多義性 ・映像作品の表現を考える ・『ガイアの知性』 ・書初め 	<ul style="list-style-type: none"> ・『async―同期しないこと』 ・『問いかける言葉』 ・説得力のある批評文を書く ・実用文の情報を捉えて生かす ・言葉の小窓2 相手に対する配慮と表現 ・漢字の広場3 同訓異字 ・旅への思い ―芭蕉と「おくのほそ道」― ・和歌の調べ―万葉集・古今和歌集・新古今和歌集― ・風景と心情―漢詩を味わう― ・『最後の一句』 ・『俳句の味わい』俳句十五句 ・『故郷』 ・自己PR文を書く ・言葉の小窓3 慣用句・ことわざ ・評価しながらスピーチを聞く ・言葉と社会1 コミュニケーションの場を考える ・漢字の広場4 四字熟語 ・書初め
3学期	<ul style="list-style-type: none"> ・『言葉がつながる世界遺産』 ・『地域から世界へ―ものづくりで未来を変える―』 ・報告文を整える ・漢字の広場3 漢字の音と訓 ・漢字の広場4 熟語の構成 ・文法の小窓3 単語のいろいろ ・発言を結びつけて話し合う ・漫画で「物語」を表現する ・『少年の日の思い出』 	<ul style="list-style-type: none"> ・構成を明確にして説明文を書く ・相違点を明確にして聞く ・『学ぶ力』 ・さいたま読解力チャレンジ ・さまざまな考えを踏まえ討論をする ・言葉と社会2 社会生活と言コミュニケーション ・文法の小窓3 付属語のいろいろ ・『走れメロス』 ・「連作ショート」を書く ・漢字の広場4 同音の漢字 	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な未来を創るために ―一人間の生命・存在を考える『生命とは何か』 『地球は死にかかっている』 『水の星』 ・『「対話力」とはなにか』 ・言葉と社会2 自分の意見を述べるとき ・意見を共有しながら話し合う ・中学校生活をまとめて作品集を作る ・『バースデイ・ガール』 ・青春の歌
	140時間	140時間	105時間

社会の基礎学力定着プロジェクト

教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次の通り育成することを目指す。

授業の約束

- ①「授業は受けるものではなく、みんなでつくりあげるもの」を基本精神とし、積極的に発言しましょう。
- ②授業中の作業には丁寧にかつ意欲的に取り組みましょう。
- ③先生が話をしているときには私語を慎み、目で話を聞きましょう。
- ④提出物は必ず期限内に提出しましょう。もし提出できない場合は、必ず先生に伝えましょう。
- ⑤忘れ物をしないでください。もし忘れ物をしてしまった場合は、授業が始まる前に必ず先生に伝えましょう。

家庭学習

- ①授業で習った内容を復習しましょう。わからない用語があった場合は、調べたり聞いたりしてわかるようにしておきましょう。
- ②問題を解くときは、くりかえしやりましょう。1回目は教科書を見ながら解き、2回目は何も見ないで解き、3回目は2回目で間違えたところだけをやるなど、工夫してやることをお勧めします。

評価の観点

知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度

評価の方法

テストにおける知識・技能の力を問う問題への解答状況
授業中の発言、課題に対する記述の内容

授業での課題に対する記述の内容
テストにおける思考・判断・表現の問題の解答状況
地図・グラフ・資料を利用したレポート、新聞の内容 等

振り返りの記入内容、テストの解答状況
授業中の発言や姿勢、ノート等の提出物とその中身 等

令和8年度 社会 年間指導計画

月		1年	時		2年	時		3年	時	
4	地理	世界のさまざまな地域 第1章 世界のすがた	9	歴史 地理	第4章 近世の日本	15	歴史	第6章 二度の世界大戦 と日本	13	
5 6		第2章 日本のすがた	10		第1章 地域調査の手法 第2章 日本の地域的 特色と地域区分	28		第7章 現代の日本と 私たち	21	
7	地理	第1章 世界各地の人々 の生活と環境	10	歴史	第3章 日本の諸地域 九州地方 中国・四国地方 瀬戸内地方 近畿地方 中部地方 関東地方 東北地方 北海道地方		公民	第1章 現代社会と私 たち	15	
8 9			20					第2章 個人の尊重と 日本国憲法	8	
10	歴史	第1章 歴史のとらえ方	20	地理	第4章 地域の在り方		公民	第3章 現代の民主政治 と社会	17	
11 12		第2章 古代までの日本						6	第4章 わたしたちの暮 らしと経済	22
1	地理	アフリカ州	5	歴史	第5章 開国と近代日本の歩み	17	公民	第5章 地球社会と私 たち	24	
2		ヨーロッパ州	5					終章 より良い社会を 目指して	20	
3		北アメリカ州	5							
		南アメリカ州	5							
		オセアニア州	5							
		第3章 中世の日本	5							
105時間				105時間				140時間		

数学

の基礎学力定着プロジェクト

教科の目標

- ・計算を素早く正確にする。
- ・物事の原理を理解し、直観・推測・規則性・論理を身につける。

授業の約束

- ・時間を守りましょう。
- ・無駄な私語は慎みましょう。
- ・コンパス・定規・三角定規・分度器を準備しましょう。
- ・学習活動は指示されたとおりに取り組みましょう。
- ・わからないことがあれば質問しましょう。
- ・タブレットは、先生の指示に従って使いましょう。
- ・タブレットは、毎回の授業で準備しましょう。

家庭学習

- ・その日に受けた授業の復習をしましょう。
- ・宿題が出たら必ずやりましょう。
- ・ワークなどは計画的に進めておきましょう。
- ・問題は時間をかけてじっくり考えましょう。わからない場合は教科書やノート（ファイル）など見てヒントを見つけてみましょう。
- ・毎日、ワークや教科書などを使って、計算練習をして基本を身に付けておきましょう。

評価の観点

知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度



評価の方法

授業の取組・発言・提出物・テスト

授業の取組・発言・提出物・テスト

授業の取組・発言・ノート（ファイル）
・課題・提出物

令和8年度 数学科 配当表

さいたま市立与野西中学校

学期	月	週	関連行事	1年				2年			3年			
				1	2	3	4	1	2	3	1	2	3	4
1学期	4	1	入学式 始業式 終業式	正の数・負の数 29				式の計算 12			式の展開と因数分解 20			
		2												
	5	3		文字の式 19				連立方程式 15			平方根 17			
		4												
		5												
	6	6		方程式 18				一次関数 21			二次方程式 19			
		7												
		8												
	7	9		変化と対応 19				関数の調べ方 18			関数 $y=ax^2$ 19			
		10												
		11												
	8	12		平面図形 19				図形の性質と証明 21			図形と相似 23			
13														
14														
9	15	空間図形 18				場合の数と確率 12			円の性質 11					
	16													
	17													
10	18	データの活用 16				箱ひげ図 4			三平方の定理 15					
	19													
	20													
11	21	学年のまとめ 2				学年のまとめ 2			標本調査とデータの活用 11					
	22													
	23													
12	24	卒業式 修了式				学年のまとめ 2			学年のまとめ 5					
	25													
	26													
2学期	8	27	空間図形 18				図形の性質と証明 21			円の性質 11				
		14												
		15												
	9	16	変化と対応 19				関数の調べ方 18			関数 $y=ax^2$ 19				
		17												
		18												
10	19	平面図形 19				図形の性質と証明 21			図形と相似 23					
	20													
	21													
11	22	空間図形 18				場合の数と確率 12			円の性質 11					
	23													
	24													
12	25	データの活用 16				箱ひげ図 4			三平方の定理 15					
	26													
	27													
3学期	1	28	空間図形 18				図形の性質と証明 21			円の性質 11				
		29												
		30												
	2	31	変化と対応 19				関数の調べ方 18			関数 $y=ax^2$ 19				
		32												
		33												
3	34	平面図形 19				図形の性質と証明 21			図形と相似 23					
	35													
	36													
				学年のまとめ 2				学年のまとめ 2			学年のまとめ 5			

理科の基礎学力定着プロジェクト

教科の目標

自然に対する関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に調べる能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。観察・実験を通して、自然を総合的に見ることができるようになる。

授業の約束

- ① 先生の話をよく聞き、安全に留意し積極的に実験・観察に取り組もう。
- ② 薬品や火を使う実験を行うときは、必ず安全眼鏡をつけて実験しよう。
- ③ 実験・観察の際は、原則、椅子を机の下に入れて立って行おう。
- ④ 実験で使うものは、絶対にいたずらをせず、正しく丁寧に扱おう。

家庭学習

- ① 授業で学習したことは、その日のうちに復習しよう。
理科用語、公式、法則、実験・観察の方法・手順、器具の使い方をおさえておこう。
家庭学習用の理科ノートを作るのも良いです。
- ② 基本をおさえたら、問題集を進めよう。
間違いや見落としの無いように、理解を深めよう。
わからないことは、次の日に先生に聞いて解消しよう。
- ③ 定期テストの前は、繰り返し問題を解こう。
定期テストでは、問題集や学校で配布されるプリントにある問題と類似した問題が出題されます。
- ④ 普段から、自然の事物・現象など、身の回りのことに関心を持ち、科学的な見方、考え方を身に付けよう。

評価の観点

知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度



評価の方法

定期テスト
小テスト
実験・観察時の様子
技能テスト

定期テスト
実験・観察の考察
授業時の発言

授業を受ける態度・姿勢
(発言・集中度・実験観察への取り組み)
ノート・ワーク等の提出物

令和8年度 理科 年間指導計画

月		1年	時		2年	時		3年	時				
4	いろいろな生物とその共通点	自然の中にあふれる生命	9	化学変化と原子・分子	物質の成り立ち	12	生命の連続性	生物のふえ方と成長	9				
5		植物の特徴と分類	8		物質の表し方	5		遺伝の規則性と遺伝子	8				
6		動物の特徴と分類	10		さまざまな化学変化	12		生物の種類の多様性と進化	6				
7		身のまわりの物質	いろいろな物質とその性質		8	生物の体のつくりとはたらき		化学変化と物質の質量	8	水溶液とイオン	9		
8			いろいろな気体とその性質		8				電池とイオン	8			
9			水溶液の性質		8				酸、アルカリと塩	12			
10	物質のすがたとその変化		8	動物の体のつくりとはたらき	13								
	身近な物理現象	光による現象	11	地球の大気と天気の変化	地球をとり巻く大気のように	10	地球と宇宙	宇宙の天体	7				
					音による現象	5		太陽と恒星の動き	8				
					力による現象	10		月と金星の動きと見え方	7				
11		大地の成り立ちと変化	身近な大地		4	電流の性質		17	科学技術と人間	運動とエネルギー	9		
12										ゆれる大地	4	力の合成と分解	12
1										火をふく大地	7	物体の運動	12
2	語る大地	語る大地	9	電流の正体	8	自然と人間	仕事とエネルギー	8					
3							語る大地	9	電流と磁界	11	多様なエネルギーとその移り変わり	3	
							エネルギー資源とその利用	5					
							自然界のつり合い	6					
							さまざまな物質の利用と人間	5					
							科学技術の発展	3					
							人間と環境	6					
							持続可能な社会をめざして	9					
		109時間			144時間			140時間					

教科の目標

- ①基本的な英語を聞いて話し手の意向などを理解する。
- ②基本的な英語を用いて自分の考えなどを話す。
- ③英語を読むことに慣れ親しみ、基本的な英語を読んで書き手の意向などを理解する。
- ④英語で書くことに慣れ親しみ、基本的な英語を用いて自分の考えなどを書く。

授業の約束

- ①自分から積極的に授業や会話練習に参加しましょう。
- ②授業や会話練習には一生懸命取り組みましょう。
- ③授業や会話練習のルールをしっかり守りましょう。
- ④聞くときは聞く、話すときは話すなどけじめをつけましょう。
- ⑤英語を話すときや読むときは大きな声で取り組みましょう。

家庭学習

- ①次の授業で行う教科書の内容について、基本文・本文などを書き、単語を調べておきましょう。
- ②授業で習ったところを繰り返し音読しましょう。また、ワークの問題を行いましょ。
- ③授業で出された課題(宿題)は必ず取り組みましょう。
- ④授業で習った単語は何度も発音し、書いて覚えましょう。
- ⑤学校で学習する英語だけでなく、NHKの「ラジオ英会話」やテレビ番組の「基礎英語1」等、広く英語に触れる機会を作り、英語の知識を吸収するようにしましょう。

評価の観点

知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度

評価の方法

- ・小テストや実技テスト
- ・文章による説明
- ・定期テストの知識や文化を問う問題、文法問題
- ・授業中の会話 等

- ・定期テストの課題英作文、リスニングや長文読解
- ・授業でのリスニングテストやリーディングテスト
- ・実技テストや授業中のスピーチ・会話
- ・課題プリント、作品の制作や表現
- ・Q&AやTF-Question 等

- ・授業中の態度や発言、課題への取り組みの様子
- ・実技テストなどへの取り組み 等

令和8年度 グローバル・スタディ科シラバス 年間指導計画

学期	月	1年	2年	3年
1	4	Classroom English Get Ready P0 アルファベットを確かめよう	P1 New Start Step1	P1 Japanese Bentos Are Interesting!
	5	P1 辞書を引いてみよう 友だちを作ろう	P2 Koshien Project in Africa Power-Up 1	P2 Good Night. Sleep Tight. Step1
	6	P2 Word Web 1 1-Bの生徒たち Word Web 2, Steps 1, アクションコーナー P3 タレントショーを開こう	P3 Step2 Taste of Culture	P3 Hot Sport Today Power-Up 1 Step2
	7	Steps 2 Our Project 1	Our Project Reading 1 Power-Up 2	Our Project Reading1 Step3
2	8	P4 Power-Up 1 Let's Enjoy Japanese Food.		P4 Sign Languages, Not Just Gestures!
	9	P5 Pajama Day Power-Up 2	P4 Leave Only Footprints	P5 The Story of Chocolate
	10	P6 The Way to School Power-Up 3 Our Project2	Power-Up 3 Step3	Power-Up 2 Step4
	11	P7 Research on Australia Steps 3	P5 Work Experience P6 High-Tech Nature	P6 The Great Pacific Garbage Patch
	12	Steps4 Our Project 2	Power-Up 4 Steps4	Our Project Power-Up 3
3	1	P8 Happy New Year! Power-Up 4	Our Project Reading2	P7 Robots Can Improve Quality of Life Power-Up 4
	2	P9 A Trip to Finland Steps 5 Power-Up 5 P10 Grandma Baba's Warming Ideas!	P7 Unique Animals P8 A Hope for Lasting Peace Power-Up 5	Reading2 Special Project
	3	Our Project 3 Power-Up 6 Reading Steps	Steps 5 Our Project Reading3	Further Reading 1 Further Reading 2 Further Reading 3

音楽の基礎学力定着プロジェクト

教科の目標 ～ 届けよう 伝えよう 与野西中生のハーモニー ～

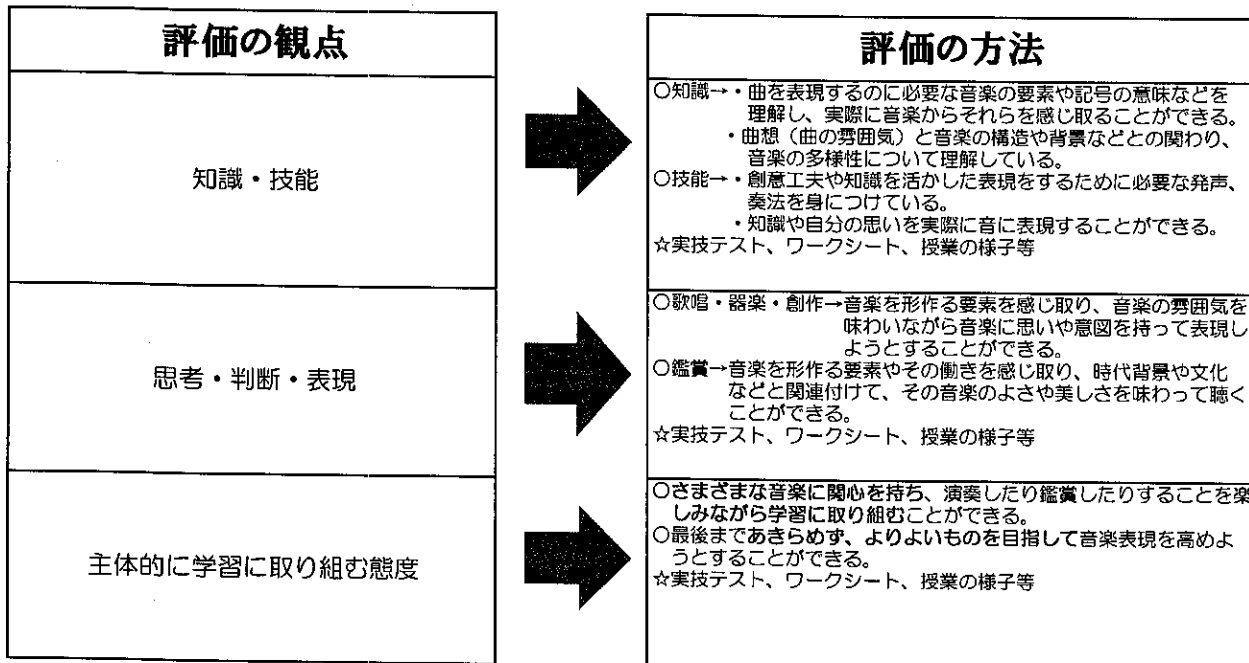
- ・音楽活動の楽しさを体験し、意欲的な音楽活動をする。
- ・合唱や楽器の演奏を通して、基礎的な演奏法や表現法の技能を養う。
- ・日本や世界の音楽を幅広く鑑賞し、興味・関心を持って取り組む。

授業の約束 ♪音楽室の使い方♪

- ①音楽室内に置いてあるものを大切に使いましょう
 - ②音楽室内では走らない、ふざけない、騒がないこと
- ♪授業での約束♪
- ①忘れ物をしないようにしっかり準備をし、授業に臨みましょう。（持ち物チェック）
 - ②一生懸命、音楽活動に取り組みましょう（吹けないから～、歌えないからと投げ出さず、わからない時は先生や友達に聞いて、クラスみんなで協力して音楽を作っていこう！）
 - ③歌ったり、演奏したり、「音を出す」ことと同じくらい、「聴くこと」が上達の大きな秘訣です。先生の話、友達の演奏、音楽の余韻など、授業中の音すべてに耳を傾ける姿勢を大切にしよう。

家庭学習

- ♪授業で習った合唱曲の歌詞を覚えたり、音程や言葉の発音などを歌いながら確認しよう。
- ♪身の回りには様々な音楽が流れています。音楽を聴きながら、幅広く興味を持とう。



学期	第1学年 单元名 教材名	第2学年 单元名 教材名	第3学年 单元名 教材名
1	<p>歌詞を大切に、響きある歌声を作ろう 「校歌」「夢の世界を」</p> <p>アルトリコーダーの基礎を身に付けよう 「喜びの歌」など</p> <p>詩の一体化を味わおう 「春」「魔王」</p> <p>混声合唱の響きを感じよう 「夢の世界を」</p> <p>合唱コンクールを成功させようⅠ 「学年合唱曲」</p>	<p>新しい仲間と歌声を磨こう 「校歌」「語りあおう」</p> <p>歌いつなごう日本の歌Ⅰ 「浜辺の歌」</p> <p>アルトリコーダーに親しもう 「ラヴァーズコンチェルト」など</p> <p>管弦楽の響きと曲の構成を理解して聴こう 「交響曲第5番」</p> <p>合唱コンクールを成功させようⅠ 「学年合唱曲」</p>	<p>新しい仲間と歌声を響かせよう 「校歌」「心の中にきらめいて」</p> <p>表情豊かに歌詞の美しさを味わって歌おう 「花」</p> <p>アルトリコーダーを楽しもう 「花の街」</p> <p>構成を聴き取ってみよう 「ボレロ」</p> <p>合唱コンクールを成功させようⅠ 「学年合唱曲」</p>
2	<p>合唱コンクールを成功させようⅡ 「学級ごとの選択曲」</p> <p>歌いつなごう日本の歌 「夏の思い出」「赤とんぼ」</p> <p>アルトリコーダーの指使いを確認しよう 「オーラリー」など</p> <p>日本の音楽に親しもう 「六段の調」</p> <p>和楽器に触れよう(箏) 「さくらさくら」</p>	<p>合唱コンクールを成功させようⅡ 「学級ごとの選択曲」</p> <p>アルトリコーダーに親しもう 「もみじ」など</p> <p>歌いつなごう日本の歌 「早春賦」</p> <p>舞台芸術を味わおう 歌舞伎「勧進帳」 オペラ「アイダ」 和楽器に触れよう(箏) 「うれしいひなまつり」</p>	<p>合唱コンクールを成功させようⅡ 「学級ごとの選択曲」</p> <p>協奏曲の響きを楽しもう 「アランフェス協奏曲」</p> <p>アルトリコーダーを仲間と楽しもう 「きよこのよる」など</p> <p>ギターの音色を楽しもう 「Happy Birtuday to You」など</p>
3	<p>和楽器に触れよう(箏) 「さくらさくら」</p> <p>アルトリコーダーに親しもう 「アメージンググレース」など</p> <p>和楽器に触れよう(箏) 「さくらさくら」</p>	<p>管弦楽の豊かな表現を味わおう 「展覧会の絵」 「シェラザード」</p> <p>アルトリコーダーに親しもう 「大きな古時計」</p> <p>卒業式に向けて、心を込めて歌おう 「旅立ちの日に」「校歌」</p>	<p>日本の音楽に親しもう 能「羽衣」キリ から</p> <p>3年間の思いを込めて歌おう 卒業生合唱曲「旅立ちの日に」「校歌」</p>

教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

授業の約束

- ・無駄なおしゃべりをせず、意欲を持って制作課題に取り組もう。
- ・必要なこと以外での席の出歩きはせず、自分の席で集中して制作しよう。
- ・制作後の後片付け、清掃は責任をもって行おう。
- ・はじまりと終わりのあいさつや、授業内でのけじめはしっかりしよう。

家庭学習

- ・普段から身の回りの植物などを観察し、スケッチしてみよう。
- ・新聞や雑誌など、身近な広告などから、文字のデザインや配色に興味を持って見てみよう。
- ・近隣にある美術館(県立近代美術館など)に足を運び、実物の芸術作品を鑑賞しよう。

評価の観点

知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度

評価の方法

毎回の制作活動や鑑賞活動の取り組み内容や姿勢

小テストや鑑賞プリントの配点

アイデアスケッチや制作プラン

素材や構成などの作品の発想

時間数に見通しを持った制作活動の組み立てや手順

作品から見て取れる制作の工夫や全体の仕上がり

美術科 3 学年年間指導計画

学期	1 学期												2 学期												3 学期																																																																																			
	4 月			5 月			6 月			7 月			8・9 月			10 月			11 月			12 月			1 月			2 月			3 月																																																																													
月																																																																																																												
週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45																																																															
1 学年	オリエンテーション 色彩の世界												レタリング・シンボルマーク (描く・使う・伝える)												鑑賞												陶芸マイ食器 (つくる・使う・伝える)												鑑賞												スケッチ (描く・感じる・考える)												鑑賞												妖怪図鑑刊行！ モダンテクニックを使って (つくる・描く・考える)												鑑賞											

学期	1 学期												2 学期												3 学期																																																											
	4 月			5 月			6 月			7 月			8・9 月			10 月			11 月			12 月			1 月			2 月			3 月																																																					
月																																																																																				
週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35																																																	
2 学年	鑑賞 スケッチ (描く・感じる・考える)												新鮮な視点で (描く・使う・伝える)												鑑賞												彫刻調教 (つくる・使う・伝える)												鑑賞												共同制作ブッシュステンド (つくる・感じる・考える)												鑑賞											

学期	1 学期												2 学期												3 学期																																															
	4 月			5 月			6 月			7 月			8・9 月			10 月			11 月			12 月			1 月			2 月			3 月																																									
月																																																																								
週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35																																					
3 学年	鑑賞 イメージを追い求めて 石彫 私の形 (つくる・感じる・伝える)												鑑賞												夢・希望・そして未来へ スクラッチボード時計 (つくる・使う・考える)												鑑賞												感謝を込めて 絵手紙 (描く・感じる・考える)												鑑賞											

保健体育の基礎学力定着プロジェクト

- 教科の目標**
- 運動・健康について理解し、主体的に計画を立て意欲的に取り組めるようにする。
 - 進んで体力への関心を高め自ら体力を高められるようにする。
 - 各種目の学習の仕方を学び、運動の特性を理解し、基礎基本の技能を身につけられるようにする。
 - 自ら課題を発見し、解決に向けて仲間と協力しながら、運動を工夫・実践ができるようにする。

授業の約束

1. 服装のきまり
 - ★体育着、ハーフパンツ、ゼッケン、はちまきを原則とする。体育着のすそは必ずハーフパンツに入れる。
(冬期の寒い時期のジャージ上下の着用は担当教員の指示に従う。)
 - ★体育着以外のTシャツ、トレーナーでの授業は認めない。体育着を忘れた場合は、授業を見学する。
 - ★外履きは運動に適したシューズを使用し、紐はしっかり結ぶ。
 - ★体育着、ハーフパンツ、はちまき、ジャージ(上下)にきちんと名前を記入する。
 - ★体育着、ハーフパンツ、はちまき、ジャージの貸し借りは認めない。
2. 見学等のきまり
 - ★けがや病気等で授業を見学する場合は、生徒手帳の後ろのページにある見学届に理由を記入し、保護者印を押し、授業が始まる前に体育の担当の先生に確認してもらう。※必ず保護者に書いてもらう。学校に来てから体調が悪くなった場合は、保健室で“保健室利用カード”を書いてもらう。
 - ★服装は原則として体育着、ハーフパンツを着る。必要に応じてジャージを着る。(原則制服での見学は認めない。)
 - ★病気等で体育を見学した場合や気分が悪い等で保健室で休み、体育の授業を欠席した場合、放課後の部活動は控え、学活終了後ただちに下校し、家で十分に休養して次の日の授業に備える。
 - ★授業時間内でケガをした時には、体育科の教員に伝えてから保健室へ行く。

家庭学習

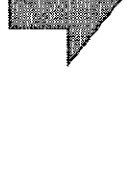
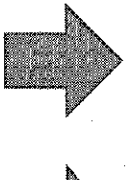
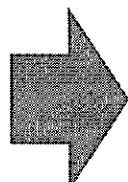
- ①規則正しい生活習慣を心がけよう。
- ②定期的に体を動かそう。
- ③保健体育の授業で学んだことを自分の生活の中で、実践しよう。

評価の観点

知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度



評価の方法

- 運動の特性や行動の仕方・ルールを理解しているか。
- 健康・安全について理解し生活の中で生かそうとしているか。
- テストの結果をもとに運動や健康・安全についての知識が定着しているか。
- 自己やグループの技能を高めようと工夫し取り組んで技能の向上がみられるか。
- 一つ一つの運動が正確にでき、高めようと取り組んでいるか。
- 自らの身体に関心を持ち実習体験を通し技能を身につけ生活の中で積極的に改善しようとする姿勢や行動が見られるか。

- 自己やグループの課題を見つけ、互いに伝え合い、練習計画を工夫し、課題解決に向けて学習に取り組んでいるか。
- 学習資料を活用したり、学習カードに自分の意見を表現できているか。

- 自己の体力・健康に関心を持ち課題解決のために意欲的・計画的に安全に留意し活動を行っているか。
- 自己の身体に関心を持ち課題解決のため積極的に学ぶ姿勢ができているか。
- 仲間と助け合い教え合いながら学習に取り組んでいるか。
- 技能の向上には、繰り返し粘り強く取り組むことが大切であることを理解し、取り組んでいるか。

技術・家庭 の基礎学力定着プロジェクト

教科の目標




- ・自立して主体的に生活を営むために必要とされる基礎的基本的な知識とそれに係る技能を習得する。
- ・生活するうえで直面する様々な問題の解決に向けて、知識及び技能を活用して解決方法を考えたり、自分なりの新しい方法を創造したりして、学んだことを実際の生活の中で生かすことができる力をつける。
- ・安心安全で豊かな生活や、環境保全と利便性が両立した持続可能な社会の構築を目指し、将来にわたり生活を工夫したり創造したりしようとする実践的な態度を養う。

授業の約束

- ① 教室移動の時間を考えて、チャイム着席を守りましょう。
- ② 教科書や学習に必要な道具など、忘れずに準備しましょう。（貸し借りはしないこと）
- ③ 特別教室の使用方法を守り、先生の指示をよく聞いて、作業は安全に注意しながら行いましょう。
- ④ 授業規律を守り、課題を理解して集中して取り組みましょう。
- ⑤ 提出物は期限を守って、指示の通りに提出しましょう。

家庭学習

- ① 授業で学んだことを自分の生活の中で、積極的に実践したり、工夫したりすることを心掛けよう。
- ② 自分の家庭生活や社会生活に関する技術や技能に興味を持って、そのやり方や仕組みを考えよう。
- ③ 自立を意識して、衣食住の仕事を家庭の中で積極的に行い、家族のために働こう。

評価の観点		評価の方法
知識・技能		<input type="checkbox"/> 定期テスト <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 実技テスト <input type="checkbox"/> 実習・製作
思考・判断・表現		<input type="checkbox"/> 定期テスト <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 発表・話し合い <input type="checkbox"/> 作品
主体的に学習に取り組む態度		<input type="checkbox"/> 定期テスト <input type="checkbox"/> 自己評価カード <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 発言 <input type="checkbox"/> 行動

技術・家庭科（技術分野） 3学年間指導計画

学期	1 学期												2 学期												3 学期										
月	4月			5月			6月			7月			8月 9月			10月			11月			12月			1月		2月		3月						
週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
第1学年	ガイダンス 材料と加工の技術を探ろう (5時間)				材料と加工の技術を利用して、生活を豊かにする作品をつくろう (27時間)												情報の技術を探ろう (3時間)																		
第2学年	情報の技術の問題について考えよう (4時間)				生物育成の課題を解決しよう 生物育成の未来を考えよう (14時間)												エネルギー変換を利用して生活を豊かにする作品をつくろう (16時間)																		
学期	1 学期						2 学期						3 学期																						
週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
第3学年	プログラムによる問題解決を考えよう (7時間)						計測・制御による課題解決を考えよう (7時間)						これからの社会について考えよう (3時間)																						

技術・家庭科（家庭分野） 3学年間指導計画

※校舎改修工事の関係で一部順序が入れ替わることがあります

学期	1 学期												2 学期												3 学期										
月	4月			5月			6月			7月			8月 9月			10月			11月			12月			1月		2月		3月						
週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
第1学年	題材1-1 ガイダンス 自分の成長と家族や家庭生活との関わり (3時間)				題材1-2「食生活のプロフェッショナルになろう」(27時間) 健康と食生活 (10時間) ・食事の役割 ・中学生に必要な栄養の特徴 ・栄養素の種類と特徴 ・中学生の1日に必要な食品の種類と概量 ・1日分の献立作成 食品の選択と保存 (2時間) 環境に配慮した食生活 (2時間) 調理の基本 肉と野菜の調理 魚と野菜の調理 (7時間) 地域の食文化 地域の食材を用いた和食の調理 (3時間) ・さいたま市の特産物 家族の生活と住空間との関わり (2時間) 家族の安全を考えた住空間の整え方 (5時間) ・家庭内事故と対策 ・自然災害への備え												題材1-3「住生活のプロになろう」(27時間)																		
第2学年	題材2-1「衣生活のプロフェッショナルになろう」(28時間) 日常着の活用 (2時間) 日常着の手入れ (8時間) ・衣服の計画的な活用 ・衣服の材料や状態に応じた手入れ 繊維、洗剤、洗濯、補修				生活についての課題と実践 (4時間)												製作 (14時間)						題材2-2「消費生活のプロになろう」(7時間) 計画的な金銭管理の必要性 (2時間) ・購入方法と支払方法 契約の仕組みと消費者被害 (3時間) ・売買契約 ・消費者被害 ・被害対策 消費者の基本的な権利と責任 (2時間)												
学期	1 学期						2 学期						3 学期																						
週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
第3学年	題材3「家族と家庭生活のプロフェッショナルになろう」(17時間) 自分の成長と家族・家庭生活 (2時間) 幼児の生活と家族 (5時間) ・幼児の心身の発達と生活の特徴 ・子どもが育つ環境としての家族の役割 ・遊びのもつ意義 幼児との触れ合い体験 (5時間) ・幼児との関わり方 ・おもちゃ製作 ・赤ちゃん幼児ふれあい体験 ・まとめ 幼児の間食 (2時間) 家族・家庭や地域との関わり 3年間のまとめ																																		

の基礎学力定着プロジェクト

授業の目標

- ①時間やルールを守って取り組むことで、学校生活を円滑に過ごす。
- ②自分のレベルに合った学習や作業を行うことで、個々のスキルを上げる。
- ③「できる」「分かる」を増やすことで、自己肯定感を高める。

授業の約束

- ①時計を見て、チャイム着席ができるように心がけましょう。
- ②みんなで決めたルールを守って授業や作業に取り組みましょう。
- ③指示された問題や頼まれた仕事に最後まで責任をもって取り組みましょう。
- ④わからない問題や作業工程がある場合は、すぐに質問をしましょう。
- ⑤苦手なことに対して少しずつでも取り組んでみましょう。
- ⑥最後まであきらめずに「やりきる」努力をしましょう。

家庭学習

- ①各教科から出されるプリント(宿題)を計画的に取り組みましょう。
- ②間違いのあった問題は解き直しまで徹底しましょう。
- ③部屋の片づけや家の手伝いを積極的に取り組みましょう。

評価の観点

知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度



評価の方法

○生徒の障害の状態や発達段階などの的確な把握に努め、左記の3つの柱を考慮しながら、個別の指導計画・個別の教育支援計画を作成する。また長期的な視点で、生徒の卒業後の支援も考え保護者・本人の意向も踏まえた上で適宜見直しを繰り返し行い作成し、できたことを具体的に評価していく。

さいたま市立与野西中学校 特別支援学級 令和8年度 年間指導計画

学期	月	行事(予定)						
1学期	4月	始業式・入学式・避難訓練・校外学習・部活本入部・離任式						
	5月	管弦楽鑑賞教室(2年)・授業参観保護者会・ふれあい夢ファーム(稲植え付け)・集団下校引き渡し訓練・体育						
	6月	修学旅行(3年)・期末テスト						
	7月	未来くるワーク(2年)・終業式・全校三者面談						
2学期	8月	始業式・避難訓練						
	9月							
	10月	ふれあい夢ファーム(稲刈り)・中間テスト・文化発表会・つぼみの日・合唱コンクール						
	11月	全校三者面談・2年校外学習・1年校外学習・期末テスト・薬物乱用防止教室・プラネタリウム学習(3年)						
	12月	全校三者面談・校区合同交流会合同宿泊学習・性教育講演会・終業式						
3学期	1月	始業式・避難訓練・合同作品展(中央区)						
	2月	学年末テスト・頒布会						
	3月	自然の教室(2年)卒業式・球技大会(1,2,3年)・修了式						
教科・領域を合わせた学習	日常生活学習	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣 (挨拶と返事、時間を守る、話を聞く姿勢、食事のマナー、偏食の軽減、衣服の着脱と整理、身の回りの整理整頓など) ○規則正しい生活 (係や委員会の仕事、清掃の仕方、学習の準備とチャイム着席、休み時間の過ごし方など) ○健康と安全 (身体の清潔、給食後の歯磨き、衛生指導、風邪の予防、衣服の調節、交通安全、廊下歩行など) ○朝の会・帰りの会 (健康観察、出席確認、今日の予定、今週の目標、今週の反省、一日の感想、生活ノートの記入、明日の予定など) ※授業時間ではなく、登校、朝の会、休み時間、給食、清掃、帰りの会、下校などの場面で指導する。 						
	生活単元学習	<table border="1"> <thead> <tr> <th>1学期</th> <th>2学期</th> <th>3学期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○自己紹介 ○学校、学級のルールを知ろう ○1学期の目標 ○クラス目標、クラスの係を決めよう ○校外学習に向けて ○夢ファームについて ○体育祭に向けて ○修学旅行に向けて ○夏休みの生活の計画 交流学級の学活に参加する時もあり。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○2学期の目標 ○文化発表会に向けて ○合唱コンクールに向けて ○合同宿泊学習に向けて ○交流校外学習 ○校区合同交流会に向けて ○2学期の振り返り ○冬休みの生活の計画 交流学級の学活に参加する時もあり。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○3学期を迎えて ○3学期の目標 ○合同作品展に向けて ○頒布会について ○2年自然の教室 ○卒業式に向けて ○7組校外学習 ○1年間の思い出 ○春休みの生活の計画 交流学級の学活に参加する時もあり。 </td> </tr> </tbody> </table>	1学期	2学期	3学期	<ul style="list-style-type: none"> ○自己紹介 ○学校、学級のルールを知ろう ○1学期の目標 ○クラス目標、クラスの係を決めよう ○校外学習に向けて ○夢ファームについて ○体育祭に向けて ○修学旅行に向けて ○夏休みの生活の計画 交流学級の学活に参加する時もあり。	<ul style="list-style-type: none"> ○2学期の目標 ○文化発表会に向けて ○合唱コンクールに向けて ○合同宿泊学習に向けて ○交流校外学習 ○校区合同交流会に向けて ○2学期の振り返り ○冬休みの生活の計画 交流学級の学活に参加する時もあり。	<ul style="list-style-type: none"> ○3学期を迎えて ○3学期の目標 ○合同作品展に向けて ○頒布会について ○2年自然の教室 ○卒業式に向けて ○7組校外学習 ○1年間の思い出 ○春休みの生活の計画 交流学級の学活に参加する時もあり。
	1学期	2学期	3学期					
	<ul style="list-style-type: none"> ○自己紹介 ○学校、学級のルールを知ろう ○1学期の目標 ○クラス目標、クラスの係を決めよう ○校外学習に向けて ○夢ファームについて ○体育祭に向けて ○修学旅行に向けて ○夏休みの生活の計画 交流学級の学活に参加する時もあり。	<ul style="list-style-type: none"> ○2学期の目標 ○文化発表会に向けて ○合唱コンクールに向けて ○合同宿泊学習に向けて ○交流校外学習 ○校区合同交流会に向けて ○2学期の振り返り ○冬休みの生活の計画 交流学級の学活に参加する時もあり。	<ul style="list-style-type: none"> ○3学期を迎えて ○3学期の目標 ○合同作品展に向けて ○頒布会について ○2年自然の教室 ○卒業式に向けて ○7組校外学習 ○1年間の思い出 ○春休みの生活の計画 交流学級の学活に参加する時もあり。					
作業学習	<ul style="list-style-type: none"> ○販売できる製品を作ろう 【ねらい】 ①身体全体の協調性を養う ②手指機能の向上 ③集中力、持続力をつける ④他の人との協調性 ⑤基本技術の習得⑥工程を理解し、自分の分担に責任を持つ ⑦仕事を行う態度の育成 ⑧接客と金銭実務に慣れる 【生産活動】 アイロンビーズ製品 切り絵製品 木工製品 アロマ製品 袋詰め、値札付け、会場作り、接客と金銭実務、 クロスステッチ製品 パーパリウム製品 消臭剤製品 片づけ、売上金の集計、感想と反省 【販売】 							
道徳	学校の教育活動全体を通じた指導(中学生らしさ、集団生活、個性の伸長、向上心、勤労、信頼・友情、尊敬・感謝)							
特別活動	学級活動(生活単元学習の中で指導) ※生徒会活動、委員会活動(全校の生徒会活動の年間指導計画通り)							
領域の学習	自立活動(知的)	<ul style="list-style-type: none"> ○健康の保持 ①生活習慣の学習 ②身体各部の状態と理解 ③健康状態の維持・改善 ○環境の把握 ①周囲の状況の把握 ②環境の変化への対応 ○身体の動き ①姿勢と運動・動作の基本的技能 ②身体の移動能力 						
	自立活動(自閉情緒)	<ul style="list-style-type: none"> ○心理的な安定 ①情緒の安定 ②状況の理解と変化への対応 ○人間関係の形成 ①他者とのかかわりの基礎 ②他者の意図や感情の理解 ③集団への参加の基礎 ○コミュニケーション ①言語の受容と表出 ②言語の形成と活用 ③コミュニケーション手段の選択と活用 						
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> ○「7組校外行事・宿泊学習を成功させよう」「交流校外学習を成功させよう」 調べ学習(電車の時刻、行き方、調理方法・買い物・活動場所について) ○「進路について考えよう」 将来の夢の発表・職業の種類・上級学校訪問について(概要、行き方の調べ学習) ○「修学旅行・自然の教室・各学年校外学習」 係の役割・交流学級への交流及び共同学習 							
交流教育	<ul style="list-style-type: none"> ○交流学級の参加 体育、音楽、総合的な学習の時間、給食、学年集会 (生徒によっては数学、社会、理科、技術家庭、G・S、美術) 							

※ 国語・数学については、課題別学習を行い個別の課題に迫れるように学習を進めています。

6 服装・身だしなみについての約束

○はじめに

☆与野西中学校の生徒の約束を守る中で、何が正しくて、何が正しくないのかを自らで考え正しく行動する。

☆学校生活での服装・髪型・持ち物等は、中学生らしい、華美ではないもの（色・デザイン等）を原則とする。

与野西中学校生徒の約束

① 服装について

○ 標準服

- ・規定のもの。
- ・衣替えの期間は別で連絡する。（5月の1か月間と10月の第1週～第2週あたり）
- ・インナーシャツとして、無地のシャツを着用してもよい。
- ・部活動がない日は、帰りの会前に制服に着替えて下校する。
- ・ネクタイ、リボンを着用し、ブレザーは一番上のボタンを留める。式典時も同様とする。
- ・夏の服装としてポロシャツを着用してもよい。ただし、ポロシャツ+ハーフパンツという組み合わせはなし。

○ 体育着

- ・体育着（学校指定の半袖シャツ、紺のハーフパンツ）
- ・体育の授業時は、ジャージの下に体育着を着用する。
- ・ジャージ登校は、気候やその時々状況で許可があった場合は認める。（例 体育祭のとき）

○ 靴

- ・上履き 規定のもの
- ・通学用 運動靴（体育の授業で使用するもの）
※雨の日は長靴登校も可

○ 靴下

- ・色は単色、無地とする（ブランドロゴはワンポイントとして認める）
- ・制服に似合うもの
- ・季節にふさわしいもの
- ※式典時は、くるぶしがかくれる靴下を着用する。

○ ベルト

- ・色は単色、柄なしとする
- ・ベルトをきちんとする

○ セーター等

- ・色は単色、無地とし、制服の下に着用することを原則とする。
- ・制服のすそからはみ出してはいけない。

② 髪型について

- ・中学生らしいすっきりとしたもの
- ・授業に支障が出てしまう髪型や、極端に刈り上げたり、一部を伸ばしたりなどはしない。
- ・前髪は目にかからない長さ、髪が肩にかかる場合は束ねる。
- ・整髪料、装飾品、化粧品等は使用しない。

③ カバンについて

- ・与野西中学校指定の3WAY バッグまたは黒を基調としたリュック（ブランドの文字は可）

④ 名札について

- ・校内では全員がつける（名札は学校で保管する）
- ・名札は、左胸のポケットに隠れないようにつける。
- ・夏季については、ワイシャツの左胸につける。

⑤ その他

- ・登下校は標準服とする（特別な行事の場合を除く）
- ・部活動後の下校は顧問の指示で、ジャージ下校でもよい。
- ・スクールコートその他、ダッフル・P コートを着用してもよい（色は無地の単色に限る）。部で一括購入したウインドブレーカーの上着などを着用してもよい マフラーや手袋も着用してもよい（ただし校舎内では着用しないこと）
- ・持ち物は自らの責任でしっかりと管理し（名前の記入など）、学校生活に不必要なものは持ってこない。
- ・水筒で飲み物を持参してもよい。中身はお茶・水・スポーツドリンクとする。
ペットボトルも可（必ずカバー等をし、カバーに名前を書く。また、必ずペットボトルは持ち帰る。）

心を潤す4つの言葉

おはよう
ございます

ありがとう
ございます

ごめんなさい

はい



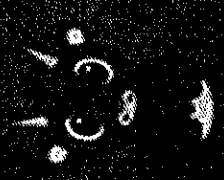
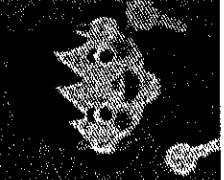
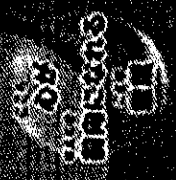
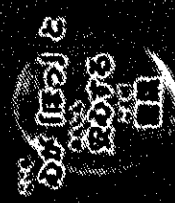
心を元気にする4つの言葉

大丈夫
大丈夫?

自分を
信じて

また明日

ちよとづつ
でいいよ



© 2010 株式会社 日本経済新聞社
この冊子は、日本経済新聞社の発行です。

与野西中学校 令和8年度 年間行事予定表

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
日曜	行事予定	日曜	行事予定	日曜	行事予定	日曜	行事予定	日曜	行事予定	日曜	行事予定
1 水		1 金	市の旗の掲揚日	1 月	朝短縮 特別日課4時間 給食なし 特別時間割	1 水	期末試験 テスト日課 ⑤非行防止教室 一斉委員会	1 土		1 火	
2 木		2 土		2 火	朝短縮 特別日課4時間 給食なし 特別時間割	2 木	特別日課	2 日		2 水	朝短縮 一斉委員会
3 金		3 日	憲法記念日	3 水		3 金	特別日課	3 月	夏季大会水泳	3 木	
4 土		4 月	みどりの日	4 木		4 土		4 火		4 金	
5 日		5 火	こどもの日	5 金	県通信陸上	5 日		5 水		5 土	土曜チャレンジスクール
6 月		6 水	体育祭準備日	6 土	県通信陸上 土曜チャレンジスクール	6 月	朝会・①生徒総会	6 木		6 日	
7 火	2・3年準備登校	7 木	第1回学校運営協議会・ いじめ対策委員会 尿検査予備日	7 日	中央区避難所運営協議会 AM (アリーナ・紙運場・新 校舎・使用不可)	7 火	⑥2年前日指導	7 金		7 月	朝短縮 ⑤学校保健委員会
8 水	始業式・第72回入学式	8 金	1年・7組⑤授業参観⑥ 保護者会・学級懇談会	8 月	朝会 ⑤情報携帯電話教室	8 水	2年未次くるワーク	8 土		8 火	
9 木	朝短縮 発育測定②2年 ④選抜訓練 森物アレルギ一聴明会	9 土	市通信陸上(円盤)	9 火	内科検診(女)13:4 0~2年・1年4~6組	9 木	2年未次くるワーク	9 日		9 水	
10 金	朝短縮 発育測定①②1 年③④3年 給食開始 クラス写真 新入生OR リハーサル 部活なし	10 日	開校記念日	10 水		10 金	2年未次くるワーク 学校給費引落日	10 月	開庁日(原則部活なし)	10 木	学校給費引落日 県新人水泳
11 土		11 月	体育祭全体練習(朝会・ ①) 前期教育実習開始	11 木	朝短縮 一斉委員会	11 土		11 火	山の日(原則部活なし)	11 金	生徒会選挙 県新人水泳
12 日		12 火	市通信陸上 ふれあい・夢ファーム	12 金	尿検査予備日(最終)	12 日		12 水	開庁日(原則部活なし)	12 土	
13 月	朝短縮 ①②新入生OR 発育測定③7組	13 水	市通信陸上 ⑥⑦全国学力・学習状況 調査(英)	13 土	市学総陸上(円盤)	13 月		13 木	開庁日(原則部活なし)	13 日	
14 火	朝短縮・清掃開始 吸入部開始 心臓検診9:00~1年	14 木	市通信陸上	14 日		14 火	朝短縮 特別日課	14 金	開庁日(原則部活なし)	14 月	朝会
15 水	朝短縮 一斉委員会 眼科検診13:25~3 年・1年1組~3組・7 組	15 金	朝短縮 一斉委員会 学校給費引落日	16 月	3年前日注意	16 水	学期末短縮4時間 特別日課 給食終了 特別時間割	16 土	(原則部活なし)	16 火	歯の健康指導(PM)
16 木	眼科検診9:00~3 年・1年1組~3組・7 組	16 土	土曜チャレンジスクール	16 火	3年修学旅行	16 木	朝短縮 特別日課 学期 末短縮4時間 特別時間 割 大掃除 学年集会① 1年②2年③3年	16 日	(原則部活なし)	16 水	
17 金	眼科検診13:40~2 年・1年4~6組	17 日		17 水	3年修学旅行	17 金	終業式	17 月	開庁日(原則部活なし)	17 木	市新人硬式テニス
18 土		18 月	朝会	18 木	3年修学旅行	18 土		18 火		18 金	市新人硬式テニス 学校給費引落日
19 日		19 火	朝短縮 係会議 2年管弦楽鑑賞教室 (PM)	19 金	3年生2時間遅れ登校	19 日		19 水		19 土	市新人陸上(円盤)
20 月	④⑤全国学力・学習状況 調査(英・算数)	20 水	体育祭予行 係会議	20 土		20 月	期の日	20 木		20 日	
21 火	2年⑥授業参観⑥保護者 会・学級懇談会	21 木	体育祭当日準備	21 日		21 火	※夏季休業日中に三方面 聯合クラス実施 学校給費引落日	21 金		21 月	敬老の日
22 水	⑦自転車交通安全教室 特別支援学級校外学習	22 金	体育祭 弁当持参 雨天:25日の授業	22 月	市学総陸上	22 水	県学総水泳	22 土	土曜チャレンジスクール	22 火	国民の祝日
23 木	全国学力・学習状況調査 (国・算) テスト日課 眼科検診9:30~2 年・1年4~6組	23 土		23 火	市学総陸上 テスト前部活動停止期間 ~30日	23 木	県学総水泳	23 日		23 水	秋分の日
24 金	朝短縮 1年生本入部 一斉部会	24 日		24 水	市学総陸上	24 金	県学総水泳	24 月		24 木	3年市学力調査 テスト日課 市新人陸上・硬式テニス
25 土		25 月	朝会 体育祭予備日 市 学総硬式テニス 給食なし 弁当持参 学校給費 引落日	25 木	土曜チャレンジスクール 内科検診(男)13:4 0~2年・1年4~6組	25 土		25 火		25 金	市新人陸上・水泳
26 日		26 火	市学総硬式テニス 内科検診(女)13:4 0~3年・1年1組~3 組・7組	26 金	朝短縮 市学総水泳 土曜チャレンジスクール 巨額科検診13:10~	26 日		26 水	始業式 選抜訓練	26 土	市新人陸上~10/2 市新人陸上
27 月	⑤⑥園下校・引渡し下 校訓練	27 水	市学総硬式テニス 尿検 査2次 内科検診(男) 13:40~3年・1年 1組~3組・7組	27 土	土曜チャレンジスクール 市学総水泳	27 月		27 木	全学年英検BA 発育測定2年	27 日	
28 火	3年⑤⑥修学旅行親子保 護者会・学級懇談会	28 木		28 日		28 火		28 金	給食開始 2年GTEC 特別時間割 部活なし 発育測定1・3年・7組	28 月	朝短縮 特別日課4時間 給食なし 特別時間割
29 水	昭和の日	29 金		29 月	土曜チャレンジスクール	29 水		29 土		29 火	朝短縮 特別日課4時間 給食なし 特別時間割
30 木	⑥離任式 部活なし 特別日課 尿検査	30 土	市学総~6日	30 火	期末試験 テスト日課	30 木		30 日		30 水	
31 日		31 日		31 日		31 日		31 月	朝会 後期教育実習開始	31 日	
16日		17日		22日		13日 1学期合計68日		4日		19日	

— ヌ

モ —

